

女性キャスターによる中国環境汚染映像 – YouTube「穹頂之下」

2015/03/11

コラム

小谷 勝彦

国際環境経済研究所副理事長



YouTubeの「[穹頂之下](#)」というドキュメンタリーを紹介する。

今年2月28日、中国中央電視台（国営放送 CCTV）の元女性キャスター 柴静さんが「穹頂之下」（Under the Dome）という一時間強の映像を公開した。中国国内で爆発的な反響で、台湾メディアがこれをYouTubeで配信したらしい。（中国国内ではYouTubeは禁止されているが、同じようなものがある）

内容は、PM_{2.5}の大気汚染について、肺がん発生の増加とメカニズムをアニメーションと肺の手術で紹介、さらに汚染当事者である山西省の石炭産業、河北省の鉄鋼会社、石油会社の中国石化（シノペック）、環境不適合車を販売する自動車販売会社等に加えて、環境保護局、中国科学院、北京大学などにインタビューしている。

アメリカのテレビ番組“TED”のように、柴静さんは、原稿も見ないでテンポよく観客に話しかけ、映像やストーリー展開は組織的な仕事に見える。中国の各都市の一年間のスモッグがマルチスクリーンで映されると、北京だけでなく中国全体の汚染が実感される。

彼女は、1976年、山西省生まれ、長沙大学卒、CCTVで「東方時空」という番組で司会を務め有名になったが、2014年に退社した。これだけの番組を自費で制作したというが、報道の自由のない中国で放映されたことに感心する。「彼女の身柄は大丈夫？」と心配するが、習近平政権が、環境問題に本腰を入れようとしているのか、それとも、政敵である石油閥の周永康、電力閥の李鵬叩きと符合しているのかもしれない。

残念ながら、日本語訳はないので、映像と中国語の字幕で雰囲気を感じてもらおうしかないが、迫力十分だと思う。ぜひご覧下さい。